

リベラル鈴鹿 竹口 眞睦 議員

市長のまちづくりへの想いと考え方

(質問) 市長の1期4年間における実績と課題について。市長の2期目に向けての抱負と決意について。

(答弁) 「鈴鹿のまちづくり」への想いと考え方について、防災・減災対策を課題として取り組み、選挙公約であった中学校給食の実施などの子育て支援の施策にも力を入れてきた。市政アンケー

トにおける、住みやすいところだと思う人、住み続けたいと思う人の割合が上昇しており、一定の評価を得ているものと考えている。2期目に向けての抱負と決意については、市民の負託の重さ、大きさを考えると1期4年間は大変短く、まだまだやり残した課題解消や取り組みも多くあると考えており、「みんなで協働して、活力のある、住みよい鈴鹿市」を目指して、積極的なリーダーシップを発揮し結果を出し続けることで、市民の皆様の負託に応えていきたい。

公明党 藤浪 清司 議員

災害への備えについて

(質問) 台風11号・大雨特別警報で市内全域に避難指示を発令したが、今後の情報発信のあり方について尋ねる。また、火災に備えて、女性や高齢者などでも簡単に取扱うことができる消火資機材導入を検討してはどうか。

(答弁) 「避難指示」発令に関しては、予想される災害やその地域を示し、具体的な避難方法や、避

難先などの説明を行う必要がある。土砂災害危険箇所の対象地域と対象者を、今回データ化した。今後、「内水ハザードマップ」や「防災マップ」を活用し、災害に応じた避難方法の詳細を定めること、道路冠水などの情報発信をする広報体制の整備、避難指示や避難勧告の改善などに取り組む。昼間に住宅地で火災が発生した場合、高齢者や女性が居合わせる確率が高いので、安全に早く確実に初期消火できる資機材導入を検討する。

その他の質問 ○新しい公共交通のあり方について

すすか倶楽部 鈴木 純 議員

災害への備えについて

(質問) 高齢者や障がい者などの要援護者が避難可能な避難所はどの程度確保されているのか。要援護者の身体状況によっては、1kmも移動できない方がいる。極力避難距離が少なくすむように、多くの津波避難ビルを準備することや、命山・避難タワーの整備について、どのように取り組んでい

るのか。避難ビルの増加に向けて、市長・副市長・部局長が1棟ずつ直接担当して交渉してはどうか。

(答弁) 現在、公共施設を含め25の施設、約2万7千人分を津波避難ビルに指定している。浸水予測区域内に避難ビルがなかったり、収容人員が居住する要援護者の人数を下回っているところもあるので、防災危機管理監が率先し交渉にあたる。避難タワーや命山も既に視察したので整備の可能性を検討していく。

その他の質問 ○防災公園について

開政クラブ 森田 英治 議員

鈴鹿市いじめ防止基本方針について

(質問) いじめ防止基本方針(案)の情報モラル教育の具体的な内容と対策について、また定期的なアンケートの回収方法と回収後の対応について。

(答弁) 携帯電話やネット上でのいじめ問題に対して、社会科や道徳の時間に、情報モラル教育を実施している。教育委員会でも、出前講座

や研修会を実施している。一部の中学校では、生徒会が主体となりルール作りが行われていて、学校主体で対策を行っている。いじめの相談を受ける方法として「いじめ SOS&メール」を18年度から開設している。また、全学年で毎学期に年3回のアンケートを実施し、教師と生徒が向き合う機会として解決につなげている。今年度は、いじめにつながると考えられる問題など、小中学校あわせて696件を確認し全てに対応した。

その他の質問 ○中学校の施設について